



2020年8月12日

各 位

三重県四日市市日永二丁目3番3号
アップルインターナショナル株式会社
代表取締役会長兼社長 久保 和喜
(コード番号：2788 東証二部)
問合せ先 管理部長 清水 茂記
TEL (059) 347-3515

2020年12月期第2四半期連結累計期間の 業績予想の修正に関するお知らせ

2020年2月14日に公表しました「2020年12月期第2四半期累計期間の業績予想」を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

2020年12月期第2四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年6月30日）業績予想数値の修正

【 連結 】

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,183	△33	8	△27	△2.00
今回修正予想 (B)	8,152	90	149	93	6.72
増減額 (B－A)	969	123	141	120	—
増減率 (%)	13.5	—	—	—	—
※ (ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年第2四半期)	9,523	91	172	113	8.21

2. 修正の理由

2020年12月期第2四半期連結累計期間において、海外中古車輸出事業は、4月度は新型コロナウイルスの感染拡大による東南アジア諸国の都市型ロックダウン等により同月の売上高は大幅に減少いたしました。6月以降はロックダウン等が解除されたことに伴い、全般に売上高は回復し当初予想されていた予算を上回ることとなりました。

また、当初予定していた新型RV車両のモデルチェンジが延期となり、車両入替に伴う一時的な仕入台数の減少がなくなりました。

これにより、販売車両台数が確保され当初予想されていた売上高を上回る見込みです。

しかしながら、国内中古車買取販売事業においては、新型コロナウイルス感染拡大による消費マインドの減少と、オークション相場の急激な変動などの外的要因による影響を受け、売上高は当初予想を下回る見込みです。

以上より、売上高は当初予想していた数値より969百万円上回る見込みです。また販売費及び一般管理費においては、国内外の環境悪化を踏まえ、根本的な固定費の見直しを進めたことから、当初予想した数値より100百万円減少し、営業外収益において持分法による投資利益を76百万円計上する見込みです。

よって、第2四半期連結累計期間の業績予想の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益については前回発表予想を上回る見込みとなりました。

なお、通期業績予想については、現時点において新型コロナウイルスによる業績への影響を合理的に算出することは非常に困難な為、2020年2月14日に公表しました通期の連結業績予想を据え置いております。

今後、業績予想の算定が可能となり、修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

また、2020年12月期第2四半期決算短信につきましては8月14日を開示予定としております。

(注) 上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる場合がございます。

以上